

平成 26 年八幡平市議会報告会「議員と語る会」で寄せられた要望・提言等に係る市の対応方針（回答）

（１）南寄木集落センター

項 目	大和ロイヤルの分譲地に防災無線が聞こえないので、何らかの対策を取ってほしい。
回 答	<p>大和ロイヤルの分譲地周辺への防災無線放送は刈屋地区に設置している防災無線屋外拡声子局により対応しておりますが、離れているため放送が聞き取りにくい状況となっております。今後予定される防災無線のデジタル化の際に、分譲地に定住している市民からの意見を考慮し、屋外拡声子局設置を検討してまいります。</p> <p>なお、デジタル化までの間につきましては、必要に応じ、広報車による巡回広報などにより対応したいと考えておりますので、ご了承願います。</p> <p style="text-align: right;">（担当：総務課）</p>

（２）大更コミュニティセンター

項 目	<p>① 都市計画道路大更駅前線の工事は、いつから始まるか。</p> <p>② ひまわりニュータウンから西線への接続道路工事は、いつやるか。</p> <p>③ 総合計画後期基本計画で示されている公園整備の中に、大更の鎮守の森は含まれるか。</p>
回 答	<p>① 都市計画道路大更駅前線の整備につきましては、事業化に向けて平成 25 年 5 月に地権者会を発足し、以来、地権者会のほか、個別の相談会や説明会を数回行い、事業の仕組み及び移転先案並びに移転補償費等を説明し、昨年 11 月に地権者全員の方から仮同意書の提出をしていただいているところです。</p> <p>この道路の整備に当たっては、県の事業認可が必要となることから、現在、事業認可申請を行うため事務を進めており、想定スケジュールとして、平成 27 年度前半に事業認可申請を行い、秋口には事業認可を受ける予定としております。</p> <p>今後につきましては、平成 27 年度中に事業認可を受けた後に、用地・補償契約に順次入り、道路の工事については、平成 28 年度の着手を目指してまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">（担当：建設課）</p>

	<p>② 市道大更西線と市道ひまわり団地線を結ぶ接続道路につきましては、市の管理する公衆用道路（市道認定外）で、現状は砂利道となっております。</p> <p>これまで維持管理対策としては、敷砂利等を行い、道路機能の保持を行ってきております。</p> <p>今後の整備については、道路の利用状況等を見極めながら検討することとなります。（担当：建設課）</p> <p>③ 市総合計画後期基本計画では、「公園・緑地」をレクリエーションや地域のコミュニティ、交流の場など地域と密着する施設と位置付け、地域とともにその維持管理の充実を図ることとしております。</p> <p>このため、市では八坂児童遊園の維持管理は行っていますが、公園の整備、設置については計画していないことをご了承願います。</p> <p style="text-align: right;">（担当：地域福祉課）</p>
--	--

（３）荒屋コミュニティセンター

<p>項 目</p>	<p>① 寺志田地区で防災行政無線の声が聞こえず、何回も市に要望しているが回答がない。どうなっているのか。</p> <p>② 荒屋コミュニティセンターがスタートするに当たり、建物の改修を要望した。建物の雨漏りもひどくなっている。市からは今後予算化したいと回答だったがどうなったか。</p> <p>③ 誘致企業には免税等で優遇しているが、地元企業にももっと支援してほしい。地元企業へ利子補給の融資制度があるが、もっと大きな金額で支援してほしい。制度改正ができないか。</p> <p>④ 安代保健センターがほとんど利用されていない。利用できるのであれば地元でもっと使いたい。できれば利用料を無料に使うことはできないか。</p> <p>⑤ テレビ難聴地域で光回線に変える工事に入るところだが、市で補助しているところもあることを聞き、市にお願いしたが、「他にも同じ地域がある、全体を見て判断したい。」と言われた後、その後回答がない。どうなっているか。</p> <p>⑥ 東京の人で、JR花輪線の一部の土地を払い下げた人がいるが、その土地が雑草などでひどく周辺に迷惑をかけている。市から土地所有者に連絡を取って何とかしてほしい。</p>
------------	---

	<p>⑦ 欠の山の下を通る国道に、バイパスができるようだが、早く着工してほしい。</p>
<p>回 答</p>	<p>① 聞こえない方から状況を確認し、屋外拡声子局の調整により対応可能か協議してまいります。 (担当：総務課)</p> <p>② 荒屋コミュニティセンターの改修についての要望は、理解をしておりますが、コミュニティセンター12館のうち、西根地区の1館、安代地区の7館については、経年劣化が進んでおり少なからず補修等が必要な状況です。</p> <p>このようなことから荒屋コミュニティセンターの改修要望を全て同時に行うことが出来ないことをご理解ください。</p> <p>さて、平成27年度の荒屋コミュニティセンターの改修についてですが、特に地域からの要望が強いトイレの改修を予定しております。</p> <p>また、雨水が施設内に漏水していることについては、原因個所が不明なことから平成27年度に調査設計の委託を予定しており、修繕工事については調査結果を受け再度検討することになります。</p> <p>(担当：地域振興課)</p> <p>③ 企業に対する支援のうち、2,700万円を超える工業生産設備等投資をした場合の固定資産税課税免除(3年間)や販路拡大の経費に対する「八幡平市ものづくり販路拡大支援事業補助金」などにつきましては、誘致企業に限らず、地元企業も対象となりますので、ぜひご活用ください。</p> <p>また、利子補給につきましては、ご案内のとおり本市が単独で実施している「八幡平市中小企業振興資金融資」制度があります。</p> <p>この制度は、年利1.5パーセント以内の利子補給や信用保証協会保証料の全額補給を行っており、近隣市町村融資制度の中においても高水準の補給率となっております。利用件数も平成26年12月末時点で252件(融資残高が残っているもの)にのぼり、多くの中小企業者に利用していただいております。</p> <p>ご要望の融資限度額の引き上げについてですが、平成26年7月から設備資金及び運転資金・設備資金併用での融資限度額を2,000万円から3,750万円(信用保証協会の保証限度額上限)に引き上げ、制度の充実を図ったところであります。(ただし、運転資金分は2,000万円が上限となります。)</p> <p>なお、この振興資金のほか、日本政策金融公庫経営改善資金(通称マ</p>

ル経)に対する利子補給(融資利率の7割補給(年利1.5パーセント分を上限))も行っておりますので、申込窓口である商工会にご相談ください。

現制度を利用させていただくことで中小企業者の資金繰りをご支援してまいりますので、ご理解をお願いいたします。(担当:商工観光課)

- ④ 安代保健センターは、慢性的な漏水があり、現時点で漏水個所の特定に至っていないため、今後さらに調査しなければならない状況にあります。

また、調査により修繕料を算定し、修繕することとなれば、計画的に予算要求をしていくこととなりますので、状況を見ながら安代保健センターの利用について検討してまいりますのでご了承願います。

(担当:健康福祉課)

- ⑤ テレビ共聴施設の老朽化に伴う光回線への移行工事について、現在、NHK共聴の施設については、基本的にNHKが施設の更新を行うため、NHKでは20年以上経過した施設から順次光回線への移行工事を行うことで10か年計画を作成しており、八幡平市内では、平成27年度に横間曲田組合、平成28年度に扇畑組合の老朽化更新が決定しています。

本市においてもこの老朽化更新による工事費に対して補助金を支払うことができるよう要綱の改正や予算の確保を行い、今後の老朽化更新に対応していく予定です。

(担当:市長公室)

- ⑥ 現在、空き地の適正管理に関する法律は制定されておらず、本市においても条例等により管理に関する規定等が定められている状況にはありません。

このため民有地間のトラブル等につきましては、市が個別に対応することは出来ませんが、具体的に申し出をいただければ、所有者に対し、申し出の内容をお知らせしたいと考えておりますので、ご了承願います。

(担当:市民課)

- ⑦ 国道282号は、秋田県鹿角市に連絡する唯一の幹線道路であり、地域の産業、文化振興などに重要な役割を果たしている路線であります。

しかし、荒屋新町地区では、住宅や商店が密集する地域で、幅員も狭く、拡幅するためには住宅や商店の移転を伴うため、改良整備や歩道の設置は難しい状況となっていること、また、冬期間においては、大雪な

	<p> による高速道路の通行止め措置が重なることにより、大渋滞が発生し、緊急車両等の通行が困難になるうえ、物流や地域住民の日常生活にも大きく影響を及ぼしている状況にあります。 </p> <p> これらの課題から、ご質問の欠の山付近の国道 282 号のバイパスについては、これまで県に事業要望してきた経緯がありますが、具体化は難しい状況と伺っております。 </p> <p> このことから、市では、安代地区の小屋の畑地区付近から五日市地区まで、市道鴨志田線などの複数路線を経て、国道 282 号のう回路としての機能も持つ路線について、整備を計画しております。 </p> <p> この計画の実施に関しては、一級河川安比川や東北自動車道に近接している区間があるなど、高度な技術的検討を要するものや多額の事業費を要する見込みから、県代行事業を要望しております。 </p> <p> 県代行事業の採択については、工事实施のための用地確保などの準備は地元自治体が行うこととなっており、市では平成 26 年度において、これらの区間の道路概略設計を実施中であり、平成 27 年度においても県代行事業を要望する区間について、実施設計を進める予定としております。 </p> <p> なお、具体的な工事着手時期については、県代行事業採択との兼ね合いから、明確な時期をお答えできませんが、できる限り早期に県代行事業に採択いただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。 </p> <p style="text-align: right;">(担当：建設課)</p>
--	--

(4) 寺田コミュニティセンター

<p>項 目</p>	<p>① 25 年度の西根病院事業会計で収入に対し、支出が上回った理由は何か。</p> <p>② 西根病院を移転する話があるが、現在の西根病院の跡地利用の計画は。</p> <p>③ 八幡平消防署と松尾出張所を統合すれば、人数削減になるのではないか。人件費はどのくらいか。</p>
<p>回 答</p>	<p>① 9 月 30 日付けで院長が退職したことによる影響が多大であったこと及び常勤医師 1 名減の状態が継続したことが主な収入減少の要因と考えています。 (担当：西根病院)</p> <p>② 西根病院施設整備基本計画を平成 26 年 11 月に策定し、その中で現在</p>

の西根病院の跡地利用については、耐震基準を満たしている建築部分もあることから、現在医療施設であることを踏まえ医療福祉関係の施設として利活用が図られるよう検討することとしています。

(担当：西根病院)

- ③ これまで、松尾出張所の職員については、平成 18 年度から平成 21 年度まで、3 名の削減を行い、消防活動、救急活動を同じ職員が兼ねる、「乗せ換え方式」により 15 名体制により業務を行っております。人件費は、約 1 億 3,000 万円となっております。

八幡平消防署と松尾出張所の統合については、松尾地区における議論を踏まえ、住民の理解が不可欠との考えから、本庁舎移転後、一定期間を置いて対応することで、進めております。

昨年 11 月 25 日に市役所本庁舎の移転が済んだこと、盛岡広域消防組合消防本部の通信指令業務の統合化が平成 28 年度までの計画で実施されている点を考慮し、本署、松尾出張所、安代出張所の消防救急業務の状況等を確認しながら、対応してまいりたいと考えております。

(担当：総務課)